

令和7年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	学年	2学年
教科書	国語表現(大修館書店)		副教材等				

1 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1部 表現力を養う 1 言葉と出会う レッスン1 言葉と表記	・表記の決まりを意識し、漢字や慣用表現を正しく使えるようにします。	期末考査
	レッスン2 整った文を書く	・係り受けや文末表現について理解します。	
	レッスン3 相手に応じた言葉遣い	・敬語について正しい理解を持ち、話し言葉と書き言葉の違いやその使い分けについて理解します。	
	レッスン4 分かりやすい文を書く	・長すぎる文を避けて分かりやすい文にする方法や、読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解します。	
	レッスン5 文のつながり	・接続表現の種類と働きや文脈による文のつながりを理解します。	
第2学期	2 伝える、伝え合う レッスン1 自己紹介ゲーム	・自己紹介のやりとりを通して相互理解を図るとともに、話し方を工夫して、分かりやすく自己紹介をします。	期末考査
	レッスン2 言葉のストレッチ体操	・働くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションの楽しさを知ること、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢を養います。	
	レッスン3 絵や写真を見て書く	・図や写真を見て文章を書くことで相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解し、分かりやすい文章を書きます。	
	レッスン4 マイニュース記事を書こう	・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書きます。	
	3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か	・小論文の基本的な書き方を理解し、意見を筋道立てて書いたり原稿用紙の使い方や推敲の観点を学んだりします。	
第3学期	レッスン2 反論を想定して書く	・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解し、構成に沿って小論文を書きます。	学年末考査
	レッスン3 文章を読み取って書く	・文章の要旨をつかむための方法を理解し、資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書きます。	
	レッスン4 統計資料を読み取って書く	・統計資料から読み取ったことを踏まえて論点を整理し、小論文を書きます。	
	レッスン5 発想を広げて書く	・発想を広げるための方法を理解し、テーマをもとに発想を広げて小論文を書きます。	
	レッスン6 レポートを書く	・レポートの基本的な書き方を理解し、客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめます。	
第3学期	レッスン7 論文を書くために	・論文執筆の進め方やそのポイント、引用の方法、参考文献や注の示し方を理解します。	

3 評価の規準

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

- ・正しい言葉を使ったり文章を作ったりできるようになるため、日頃から読書をすることを心掛けましょう。
- ・普段から新聞やテレビ、書籍、インターネット検索など、様々な媒体を用いて情報収集し、周りの人たちと意見を交換し合ったり、自分の意見をまとめたりする習慣を付けましょう。（面接・小論文・作文）
- ・相手との関係を踏まえた適切な言葉遣いに心がけ掛けましょう。（面接）